

特集

町政あんない

情報コーナー

まなびすと

キラリ健康ナビ

わいわいプラザ



書架の探偵

推理作家のクローンとして図書館の書架に住まう男の物語、彼の力を借りるべく、謎を携えた令嬢が図書館を訪れる。令嬢に貸し出された彼の元に立ちはだかかった驚愕の事件とは…。

ジーン・ウルフ 著
(早川書房)



離れている家族に冷凍お届けごはん

食材をオープンシートで包んで冷凍して、離れている家族にお届け。届いたら電子レンジやフライパンで温めるだけの、便利でおいしい「お届けごはん」のレシピを紹介する。自宅の冷凍庫にストックして超時短調理にも使える。

上田淳子 著
(講談社)



(幼児向け)

児童書
かわうそ3きょうだい とらのまき

かわうそ3きょうだいが、森でいちばん強い生きもの、トラに会いに行く。旭山動物園で飼育係だった絵本作家・あべ弘士が、いちばん好きな動物、かわうそを描く。

あべ弘士 作
(小峰書店)

8/31 図書室 休館のお知らせ

資料整理のため、8月31日(木)は、図書室をお休みします。
9月1日(金)からは平常どおり利用できます。
問合せ 社会教育センター 図書室 28・5449



豊山俳句クラブ

青山克己 選

- 薫風や葉裏光りて峡の川 小塚美枝
- 鮎の川夕べに魚籠をのぞきしや 岡島 齋
- 薫風にしばし吹かれて微睡んで 杉本 衿子
- 水無月の赤く染まりし月夜かな 坪井 径子
- みどりからみどりへと谷分け入れり 青山とも子
- 咲きたれば命終ると笹の花 水野 真弓
- 風光る娘の部屋の朝ごはん 谷崎 琴
- 白昼の深きみどりにかじか鳴く 高木須磨子
- 純白にひとつばたごは空に昏れ 田村多喜子
- 校庭になんじゃもんじゃの花が咲き 坪井昭子
- 吊り橋を渡り終へたる夏帽子 杉浦みどり
- 初夏の日の風の高さに眠り猫 平手英信
- アルバムに音はりつける河鹿笛 石黒貴代子
- 吊り橋の真下を風のつばくらめ 青山克己

豊山歌壇

水野笑子 選

- 年毎に吾が詠む歌のやせてゆく 感性乏しを老に逃げゆく 水谷弘子
- タウンバス昔のままの速度にて 追ひ越しわらふ車両のありたり 水野勝代
- カモミール五月の光りに丈高し 山田 米
- 白き花咲く日は近づきぬ 渡辺トヨ子
- 老体も若くありたし今さらに 背すぢを延ばし足早に歩む 井上とよほ
- 四季といふ春夏秋冬過ぎ来して 経ちし一年の早さを想ふ 木村和子
- 発想を変へて生きむか若葉萌ゆ 明日の予測もなき狭庭辺に 小出寿枝
- NHKのホールに立ちて演奏す 琴の音色は山びことなる
- 羽織からブラウスなどを作らんと 時代の移ろひ絹糸ほどく 荒川昌枝
- 一晩に伸びたる若芽切り取りて よくよく見れば雑草なりし 安藤定岳
- みどりとふ色も多様に芽吹初め 自然の威力の何と尊き 一柳千鶴子

編集後記

今年も夏まつり実行委員会のご尽力のもと、とよやまDEないしが盛大に開催された。会場は出店で賑わい、ステージでは様々な団体が演舞した。多数の町民が来場し、輪になり踊った。会場内では、様々な交流が行われ、豊山のコミュニティを感じた▼地域コミュニティの力は、昨今、健康づくりという観点からも注目を集めている。長野県北部の農村、松川村。人口約一万人のこの村は、男性の平均寿命日本一の自治体である。長寿には、食生活など様々な要因があると考えられる中、調査した大学教授は、地域コミュニティが息づいていることを最も大きな要因として挙げる▼松川村には約百四十ものサークル活動があるようだ。家族以外の人との交流が多く、趣味を楽しむ人の割合は全国平均より高い。地域や友人との交流を楽しむことは、食事や運動と並んで健康づくりにつながるのである▼人と人とが楽しく接することのできる場を築くことは、町民の幸せにつながる。健康づくりの面からも、裏付けられたといえる。